六タ
日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

四倉町長と町議に 辭職勸告書を發送
愛町觀念から止むを得ぬ
◆……新妻四倉町長談

四倉築港修繕費の寄附問題で町會で議決した十八萬五千圓は町民にとつて負擔過重であると町民大會の實行委員が憤慨し既報の如く町長、助役及び町會議員全部に辭職を勸告する事を申合はせ長老古川定兵衛、佐藤宇三郎、小湊房吉、門馬安次郎の四氏に依頼し町當局の意嚮を質した處、新妻町長は四日の町會に諮りこの旨協議した結果、一旦決議した事であるから如何なる事情があつても取消す事が出來ないといふ解答があつたので實行委員は六日午後新町佐藤榮喜方に會合し豫定通り辭職勸告書を發送し同時に之に關する聲明書を發表した、右について新妻町長は語る。

「越權問題で我々當事者の責任を問ふのは愛町的觀念から見て尤もな話である、然し事緊急を要する重大問題なるが故に町民に諮る余裕の無かつた事を遺憾に思つてゐるが、我々としてはよしや過重な負擔とは云へ確信あつて斷行した事であるから一口に一戸平均百八十圓と云へば過酷な負擔に聞えるが、何等かの方法で町民に出來るだけ負擔の輕減を計る樣考えてゐる次第である」

歩合問題が決り次第 起債の認可を申請

四倉漁港問題については地元負擔金十八萬六千五百圓は三日の町會において町が保證となり漁業組合が起債することに決定したが、この起債は表面漁業組合が主体であるが、その實質は町負擔となるので町當局では組合に對し歩合問題を交渉したが一向埒があかず今日に至つて一致を見ない、從つて起債方法および手續き等が決定せず未だ縣に起債認可書を提出來ない有樣になつてゐるが、右につき一町議は語る

「歩合問題で町當局から漁業組合に再三交渉をしたが未だに解決を見ない、從つて起債申請書を提出し得ない有樣であるが、この問題は町將來の浮沈に係る重大事件であるから組合で町當局の要求を入れたがよいと思ふ」云々

なほ當局では歩合問題解決次第で申請の手續きを取ることになつてゐる。

▲農事實行組合長會

石城郡平窪村農事實行組合長會議は八日午後一時から同村役場に開く。

低利資金を借入れ 築港の道路改修

石城郡小名濱築港から本町通りに通ずる道路は魚類運搬の重要な道路であるが非常な惡路で、雨天の際は車馬の交通殆んど不可能の狀態であるため、小名濱漁業組合では右の道路のうち長さ三十八間を巾八間のコンクリート道路に改修する計劃をたて工費五千五百四十圓の低利資金借入方を縣に申請した。

証券變造詐欺 原審通り判決

額面廿五圓を五千圓に變造した公債證書を擔保として石城郡平町百澤易輿から三千五百圓を詐取した相馬郡中村町小泉信（四六）外三名の變造有價證券行使詐欺事件は三日宮城控訴院で福島地方裁判所の判決通り左の如く判決された。

▲懲役二年小泉信▲懲役一年半双葉郡富岡町上野幸藏（五三）懲役一年同郡廣野村鯨岡淸一（四一）同平町北郷竹治郎（五五）

外遊だより
第二信 ロンドンにて
海軍中佐　高木武雄（寄）

（十）

〇東京を出て既に四ヶ月近くなりますが相不變健全です、言葉も判らず文字が判らずでも苦勞はありません、明日から獨逸ですが、之れこそ一言一語も解せませんけれど、同樣な伊國、佛國で腹もへらさず野宿もせずにやつて來てるのですから心配はありません、倫敦でも日本の店があり、日本旅館あり、食堂あり、散髮屋までありますから若しも欲するならば日本食のみをたべ日本語だけを使つて暮すことも出來ます。併しグロ氣分とでも云へませうか、判らぬことを打破して行くことも面白味があります。巴里で料理をたべに行つて、メヌーを見ると、僕にわかるのは、トマトにアスパラガス位のもので、あとは一切不明ですが、蛙の料理や蝸牛の料理は繪に書くと忽ち通行します、ビフテキだのカツレツだのと云ふ段になると繪にならぬので却つて六ヶ敷い樣です。倫敦では乘りつけの地下鐵驛の切符賣は僕の言ふ行先驛名が聞きとれぬので氣を利かして自分の方から僕の行きそうな驛名を一つ〳〵列擧します、煙草屋へ行くと僕の買ひつけの煙草を向ふから之れでせうと出して呉れます、否や今日は別なのがほしいなどとからかつたりします。世の中は渡りやうによつては隨分便利に出來て居ると、つく〴〵思ひます。先日荒川キ計中佐（之は若松一美さんの奥さんの親戚で會津出身です）氏の發企で福島縣人會を倫敦の料理家「ときわ」と云ふ家でやりました、スキヤキが御馳走でした、集まつたのは大使の松平さんや相馬子爵の弟の相馬造兵少佐、濱江の高橋氏、臺灣の酒造の方役人で旅行中の佐藤氏、之れは世界各國古今の酒に就いて詳しい智識を持つて居る人で氏の酒爛談で賑やかでした。禁酒令は今日でこそ米國で大問題になつてゐるが、我が國では遠い昔に何回も實驗濟みで最後の禁酒令は鎌倉幕府時代にあつた、その時政府が沒收して捨てた酒槽の數迄記錄に殘つて居るなど面白い談でした。相馬節や會津の盆踊も本場の人が上手に謠ひました。倫敦の神田小川町程度の賑やかな街の赤煉瓦の三階の窓を開け放してです。（終）

結髮業者四十名 理髮組合から脱退
比佐組合長等狼狽し善後策を協議

平町理髮組合は比佐組合長の態度が横暴なのでその反感が因をなし常に内紛が絶えない狀態であるが、今回又々結髮業者四十名は團結して組合から分離し獨立した結髮組合を組織した、この脱退に加はらなかつたのは比佐組合長の腹心の部下である平田町矢内シゲ一名であるため比佐組合長以下大いに狼狽し五日六日の兩日田町矢内方で幹部會を開き善後策を講究中である。

自動車事故の 原因調べ

石城郡平、四倉、植田三警察署管内に於ける最近十二ヶ月間の自動車事故數は四十八件で最も多いのは自轉車と衝突で九件、馬車追越五件、自動車追越六件等が重なるものである。

無錢で酒をのんだ上 レコードを盜んで逃走

石城郡好間村大字上好間自轉車修繕業鹿田秋正（二八）は五日午後十時頃内郷村大字金坂洋食店金山バーで酒を飮んで勘定を支拂はぬ上立去る際蓄音機レコード三枚價格四圓五十錢を窃取して逃走した處を平署員に捕はれた。

オートバイで 犬に咬まる

石城内郷村大字白泉字濱井場魚商泉吉（二八）は五日午後三時半高オートバイに乘つて平町白銀町地内を通る際同町二十八番地中尾理髮店の飼犬に咬まれ平署に届け出でた。

▲馬を盜まる

石城郡小川村大字上小川菅波皆治（四〇）方で三日夜何者かに飼馬一頭價格八十圓を窃取されたので平署に届け出でた。

郡農會で 菜種の幹旋

石城郡農會では農村振興の一助として本年から二毛作菜種の栽培を奨勵した處平窪村外五ヶ村で約三町歩を試作した處二十石（四十六俵）の收穫があつたので郡農會内田書記が水戸市飯田製油所に交渉の結果二等五圓四十錢、三等五圓二十錢、四等四圓九十錢總額二百十八圓八十錢で賣却した、明年からは更に一般的に栽培を奨勵する由である。

▲猖紅熱にかゝる

平第二小學校三年生平町材木町高橋キミ子猖紅熱と決定した。

自動車で 瀕死の重傷

石城郡湯本町字天王崎鈴木稻實方運動手同町字石畑大友正雄（三三）は五日正午平、湯本間乘合自動車第三三一號を運轉し湯本町から平町に來る途中湯本町字辰の口地内進行中横から同字辻島ミミ方居住白坂藤藏四男昭藏（四ツ）が駈け出して來た車輪に衣類が掛り轢き倒され瀕死の重傷を負ふた。

▲酌婦逃走

平町南町飲食店新ばし屋本店事佐々木金次郎方抱酌婦金森ユキ（十八）は前借二百五十圓を踏倒し五日夜逃走した。

アイスクリーム製造の
一大革命來る!!
廻轉せずに其まゝすぐ出來る
無廻轉（アイス）速製器出現
氷は從來の三分の一
出來上り時間僅か二十分
毎日店頭にて實驗して居りますから何卒御試見下さい同時に製造方法も御教へ致し升

宣傳特價
一號器（營業用八十人前）二十八圓
二號器（仝　六十人前）二十五圓
三號器（仝　四十人前）十五圓
四號器（御家庭用二十人前）六圓
御家庭用ハ氷一貫目で十二分間に出來上ります

製造元　東京　佐藤商店
平町二丁目（平警察署通）
東北六縣　勿來製氷
總代理店　一手特約　魚清氷卸部
電話四六七番
外交員至急募集
氷の御注文は電話四六七番へ
配達ハ――超スピード
回配達夫大和利喜藏は都合に依り十日限り解雇致候
以後當店とは何等關係無之候

回病室完備
外科專門
X光線科
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番
回入院應需

婦人用清涼着と子供服

婦人清涼着	子供服
四拾錢	拾錢
四拾五錢	四圓

ツルヤ

夏ハあせも、たゞれト吹出物ニ
冬ハ温浴ヲ冷エ込ミヨリ來ル諸病ニ
オ行水ヲ
精浴
バスエマー
使用量　洗顏數滴　定價　試用　二十五瓦入　貳拾錢
行水五瓦　小瓶　二百瓦入　壹圓
風呂十瓦　大瓶　七百瓦入　參圓
（送料十二錢）
東京市麻布區山元町十三番地
特約店募集　小林商會
振替東京五一五〇五番

平町田町（電話五一三番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
內科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科

夏服
◆輕裝上衣
黒セル　¥3.50ヨリ
カシミヤ　¥7.80ヨリ
シルクポーラー　¥8.50ヨリ
◆白直衣　¥1.40ヨリ
◆ヅボン
白セル　¥2.30ヨリ
パンピス　¥2.50ヨリ
輕快な夏服の季節となりました。スマートな新製品が豊富に取揃へて御座ひます。
平ニ　ふかや洋服店　電203

醫院開業
專門　產婦人科　花柳病科
◎入院應需
井坂醫院
◎午前宅診
◎午後往診
平町田町（舊合津醫院跡）
電話五五九番

治淋新劑
強タカジリン
（定價一圓、二圓、三圓）
平町一丁目
特約店　大平屋藥店
電四六二番

平看護婦會
會長　清野キヨ
平町字南町【電話三〇七番】
回看護婦派出の需めに應じます

第五回營業報告

貸借對照表

借方（資產之部）		貸方（負債之部）	
未拂込株金	九〇、〇〇〇、〇〇〇	株金	二一〇、〇〇〇、〇〇〇
建物	一一、四七五、〇〇〇	借入金	四、二九、四三〇
貸付金	一一、三六六、三一〇	濱方未拂金	三、四九一、二一九
假出金	八、〇九四、九七〇	假受金	四九八、一〇〇
什器	五、八一五、九五〇	法定積立金	九〇、〇〇〇
銀行勘定	五、一四、〇六〇	準備積立金	六〇、〇〇〇
金銀勘定	八四二、〇五〇	未拂配當金	五三、一五五
立替金	八三八、七四〇	未拂金	九九九、六八〇
未收入口錢	二八三、七七〇	前期繰越金	二七九、〇一五
貸付金	二〇、〇〇〇	合計	一三〇、一五一、六〇〇
當期損失金	一、一八七、四四〇		
合計	一三〇、一五一、六〇〇		

一金壹千壹百八拾七圓　七拾四錢也　當期損失金
差引金九百〇八圓七十壹錢　五厘也　後期繰越損失金
右之通リニ候也
昭和六年六月二十九日
福島縣石城郡平町字大工町貳拾貳番地
株式會社　平魚市場

一金壹千壹百八拾七圓　七拾四錢也　當期損失金
損失金處分
一金貳百七拾九圓〇貳錢五厘也　前期繰越金
合計　一三〇、一五一、六〇〇

三陽製藥株式會社
久之濱　新妻治郎
平町販賣店
山野邊藥局